

コンテナ政策

中国地方の外貿コンテナ貨物輸送の方向性

欧米向け貨物

基幹航路維持のため、海外トランシップしている貨物のスーパー中枢港湾・阪神港への集約を目指す（スパ中政策）。阪神港等利用アジアトランシップ貨物を管内港湾利用にシフトさせるのか？あるいは外航フィーダーを内航フィーダーにシフトさせるのか？

東南アジア向け貨物

将来的には極力管内港湾利用のダイレクトを目指す。ただし、阪神港利用の香港・台湾等トランシップ貨物は、まずは管内港湾利用へのシフトさせることを目指して、瀬戸内海の物流拠点を形成するか？あるいは阪神港を東南アジアハブとするための施策を展開するか？

中国向け貨物

将来的には、全て管内港湾ダイレクトを目指す。港湾背後の物流機能を充実させることにより、他ブロック港湾依存からの脱却。さらに、管内港湾利用のダイレクトを実現すべく、航路の多頻度化、複数寄港化を目指す。

